

Y's

湘南の気候、風土を知り尽くし、独自の建材でオリジナリティを追求。健康的で質の高い住まいを提供する

PROFILE

木材は、日本の風土に最も適した国産材を使用。壁には漆喰や地元の土を使うなど、工業製品に頼らない家づくりを行う。伝統工法に基づく「木摺り漆喰」など、自然由来の材・工法について独自に開発を重ねる。同社が中心となって様々な専門家が集う「ものづくり工房 湘南村」では、気軽に自然素材に触れられるワークショップを開催している。

DATA

社名/ワイズ

代表/山本康彦

住所/〒253-0021

茅ヶ崎市浜竹3-4-64

☎0467-88-3903

年間建築棟数/新築10棟

社員数/5名

建築地域/湘南を中心に神奈川県全域

設立/1993年7月

定休日/水曜、第1・3火曜

アフターメンテナンスの対応

- ・定期点検を実施



会社設立時に代表の山本さんが自らのイニシャルをもとにデザインしたY'sのロゴ。同社の住宅の多くには、建主からの要望により、このロゴが外壁に掲げられている。

COMMENT

本当の、本物の自然素材とは何か。建物をつくっているひとつひとつの素材に目を向け、日本各地の伝統的な工法や素材などを研究。ペニヤも接着剤も新建材も一切使用しない、本物の自然素材のみを使った家づくりに取り組んでいます。

山本康彦

1968年神奈川県鎌倉市生まれ。一級建築士。左官職人の経験を生かし、土を使った建材や製品の開発から家づくりに携わる。伝統工法、自然素材などの材にも造詣が深い。



素材へのこだわりとオリジナリティが魅力

建売住宅などをいろいろ見てきたが、どれもピンとくるものがあったというMさん夫妻。そんなとき、夫の実家のすぐ近くで建築中のワイズの物件が目が止まった。見学させてもらおうと、「外観から他とはちよつと違う気がしましたが、ここまで無垢の木が使用された家は他にはなかった」と夫。依頼することが決まった。

『版築のある家』と名付けられたこの住宅は、土を何層にも突き固めた版築壁がアクセント。この日本古来の土壁が象徴するように、伝統的な技法と本物の自然素材によってつくられた住まいである。外壁の下地には、オリジナルの「木摺りパネル」と同社が開発や販売に携わり国土交通大臣認定も取得した自然素材による「瀬戸漆喰」を採用。床材は30mm厚の吉野杉で、自社加工による「浮造り」仕上げが施され

1階LDKは、南面の大きな引き込み式の窓が開放感をもたらす明るい空間。自然素材を使用した空間にはペレットストーブが似合う



1. 垂木や野地板を表しにした軒裏。独自の工法により、通常は使用できない準防火地域でも軒裏に木を使うことができる 2. 石、竹垣、植栽を配し、周囲からの視線を柔らかく遮りつつ外部とのつながりを持たせている

自然素材に癒されつつ モダンさも楽しむ家

神奈川・茅ヶ崎市 Mさんの家

家族構成／夫29歳 妻27歳 長男1歳



4



3. 人通りの多い前面道路からの視線を遮りながらも採光と通風を確保する版築壁のアプローチ
4. 木摺りパネルを用いた瀬戸漆喰の下地に土壁掻き落としで仕上げた外壁を採用。杉板張りがアクセントに。屋根を浮かせた「浮き屋根」もポイント

ている。「厚みがあるので冬場は普通のフローリングと比べて足が冷えないし、浮造りにより夏場はベタベタせず爽やかで、傷もつきにくいですよ」とワイズ・代表取締役の山本康彦さん。キッチンや建具、造作家具はオリジナル仕様で、ところどころに鉄やステンレスを使用したモダンなデザインも印象的。無垢材をふんだんに使用しながら重厚になりすぎず、若い家族が明るく快適に暮らせる住まいに仕上がっている。





1



3. 黒い玄関ドアを開けると版築壁が見え、明るい日差しが入る。右手の手すりは八角形に加工されていて、手にしっかりと馴染む 4. 間接照明がやさしく照らし出す玄関土間にはモルタル掻き落としを採用。柔らかい雰囲気を出す

オープンなキッチンも木の温もりにあふれ
使いやすいも抜群



2

1. リビングからキッチン側を見たところ。左手の格子は釘を1本も使わずに手作業で組まれた伝統的な面格子で、耐力壁の役割も果たしている 2. 天板に厚さ3mmのステンレスを使用したオリジナルキッチン。「作業スペースが広くて使いやすいです」と妻

建主のMY FAVORITE

床やテーブルの無垢の木も気に入っていますが、住んでみて暮らしやすいと思うのは、リビングを中心にした間取りです。キッチンと水回りが近いので家事がしやすく、南側のウッドデッキでは子どもを遊ばせたり。建具が1階のトイレ以外はすべて引き戸なもの、思った以上に便利です(妻)。



6



5

5. 2階寝室には糊土仕上げの壁を採用。しっとりとした土の素材感が感じられる 6. 収納棚が設けられた階段ホール。構造材の柱を貫通しているように見える階段の手すりにも、職人の技が光る



1、2階とも南側の窓には障子を設置。「障子を閉めると、冷暖房の効率が2〜3℃アップします」と山本さん。棧を細くしてモダンな雰囲気



勾配天井が開放感をもたらす2階寝室。家族が増えたら2つに仕切って子ども室として使えるように計画されている。押し入れの襖には土佐和紙を使用

・ CHECK POINT ・

土壁

再生可能な自然素材

多孔質である土は吸放湿性に優れるほか、室内で暖まった熱を蓄えて輻射熱として放出。冬は小さな熱源で暖かさを実感でき、夏場は湿気を逃がして快適な空間を実現する。「土は古くから住宅に使われてきた素材で、断熱、調湿、蓄熱、耐火など新建材にはない優れた性能を備えています。地震の際には、自ら崩れることで外からの力を吸収。崩れた土は水で練ることで再度建材として使用できる、再生可能な自然素材なのです」(山本さん)



2F



1F



DATA

敷地面積 / 110.12㎡(33.37坪)
 延床面積 / 98.97㎡(29.99坪)
 1階 / 51.35㎡(15.56坪)
 2階 / 47.62㎡(14.43坪)
 用途地域 / 第1種中高層住居専用地域
 建ぺい率 / 60%
 容積率 / 200%

構造 / 木造軸組工法
 竣工 / 2013年6月

INSTRUMENTS

キッチン / オリジナル
 窓・サッシ / LIXIL (トステム)
 LDの照明器具 / オーデリック

・ CHECK POINT ・

西川材

構造材、建具などに使用

M邸では構造材や造作材、建具、家具に埼玉県優良木材の西川材を採用。Y'sは産地と組んで国産木材の普及に努めている。建具はY'sによるオリジナルで、1階は柾目、2階は板目と、同じ杉でも木目の違いによる変化を楽しめるように工夫されている。

